

いのちを食べて生きている私たち。私たちの生活を支えている農のこと、そして自給自足の暮らしについて、もっと身近に感じてみてください。



『信州風土や』 河辺寛之さん直子さん

千葉県より長野県の小川村に移住し、昨年より有機農業を始めた河辺です。就農した村は過疎化が進んではいますが、大きな開発も無く、信州の古い民家の残る風景がすばらしい地域です。地元のじいちゃん・ばあちゃんと話したりしていると、なんだか今どきの社会とは違うゆっくりとした時間が流れるような素敵なおとこです。

農業をするきっかけ

私が『地球村』の事を知ったのは、妻が姉と高木さんの講演会に行き、そこから著書を読ませていただいたことからでした。世の中の表には出てこない事実にびっくりしたと同時に小さな事でも行動に移さねばと感じました。その後、講演会などにも参加させていただきましたが、こ



れまで進んできたこととは違う方向に進むべきだと強く思うようになりました。まずは自分たちが小さくても行動を起こしてみる。そんな思いから勤めていた建設会社を退職し、家族を連れて農の世界に飛び込むことになり

ました。私たちが『地球村』を知るきっかけになった姉家族も、京都府の綾部に移住し、自給用の畑をしながら田舎暮らしをしています。

農的暮らし

我が家には9歳から3歳までの3人の子どもたちがいます。子どもたちには、畑の一部を“ちびっこ農園”として場所をとっています。少量ではありますが子供たちが自分で耕したり、タネをまいたり、苗を植えたりして野菜を育てています。その際、できるだけ親は手をださないようにしています。子どもたち自身の世話で野菜が生育し、収穫できた時の喜び

は大きいようです。ほとんど虫に食べられてしまったり、小さな実になかなか



たり、逆に思っていたより良い野菜ができたりと、子どもたち自身が勝手に畑からたくさんのお事を吸収しています。最近の子どもたちは食べ物の好き嫌いが多かったり、食生活が偏ったりなど、どんどん悪い状況になっています。そのような中で子供たち自身の畑作りを通じ、野菜の成長を観察したり世話をしたり、収穫する喜びを体験することは子どもの心を育むために大切な事です。

また、命の大切さや収穫したものを食べたときに満足感を感じることで子供たちの心がより豊かに成長していくのではと思います。そして、農作業の手伝いなどをして親の背中を見られることも凄く魅力的な事だと感じます。少しずつではありますが、視野を広め、感謝の気持ちなど豊かな心を持つことができるようになっていってくればと思っています。

地域のふれあい

新米農家の私たちが畑仕事をしていると、いつも地域の皆さんがやさしく声をかけてくれます。農業では食べていけないと言われる今の世の中ですが、その世界に飛び込んだ我が家を心配しつつも応援してくれているようです。地域の方々とのふれあいを大切に、交流を図っていきたくと思っています。



去年は、我が家の畑にもいろいろな方が遊びに来てくれました。畑に案内したり、手伝っていただ

いたり多くの交流ができました。日程等が合えば、地域の方のお宅へ遊びに行かせて頂き、そこで囲炉裏を囲みながら村に伝わる伝統的な食事を皆で教わりながらつったり、たくさん話を聞いたり、出来るだけ地域の方とふれ合い、体験することを大切にしました。

去年の2月には地域の方のお宅で、自給用に栽培しているキビなど使って20数名で餅つきをしました。ここにお住まいの方は、多くの食材を自給されていて、醤油なども昔ながらの方法で自家用に搾っています。もちろん原料に使う大豆や麦なども自家栽培です。このような海外の農産物を使わない豊かな食生活が多くの事を気づかせてくれます。我が家も可能な限り自給率を上げていきたいところですが、まだまだという感じです。

これからの豊かな暮らし

今の社会は、競争社会でありマネーゲームのような利益獲得中心の社会になっていて、大事な部分が置き去りにされているような気がします。世の中の大きな流れとは違う豊かな暮らしもあるということ、農業を通して世に情報発信し、小さな芽を広げていきたくと思います。多くの方々人が人や自然のつながりに関心を持ち、真の心の豊かさ、人や自然への感謝の気持ち、暮らしの楽しさを

感じる世の中になることを願いつつ、日々畑仕事をしています。

子どもたちが、現代の競争社会に巻き込まれないように、わが農場でも限られたスペースではありますが、自分の子だけでなく都市に住む子どもたちの為に畑の場所を確保していきたいと考えています。言葉で多くを伝えなくても、子どもたちはきっと何か大事なことを感じ取ってくれるような気がするのです。

今、日本ではたくさんの知恵をお持ちの方々が、どんどん高齢化しています。多くの循環型の暮らしの知恵を未来の子どもたちに伝えていけるように、私たち自身も学んでいきたいと思っています。自分たちから変わって、その豊かさや楽しさを少しずつ伝えていき輪が広がっていけば、より良い社会づくりはきっとまだ間に合うと信じて頑張っていきたいと思っています。



みなさんお待ちしております

都市部とは違うのんびりした小川村で、子供たちと「ちびっこ農園」をしてみませんか？親が何も言わなくても、子供たち自身がタネ播きし収穫して食べれば、きっと大切な何かを感じ取ってくれると思います。

信州風土や <http://www.fuudoya.com>

〒381-3302 長野県上水内郡小川村高府 9732-1-115

T/F : 050-8686-4183

e-mail : kawabe@ngn.janis.or.jp

このコーナ - に登場していただける方を募集しています。自薦他薦を問いません。メールでご連絡ください。

『地球村』事務局 mail: tusin@chikyumura.org